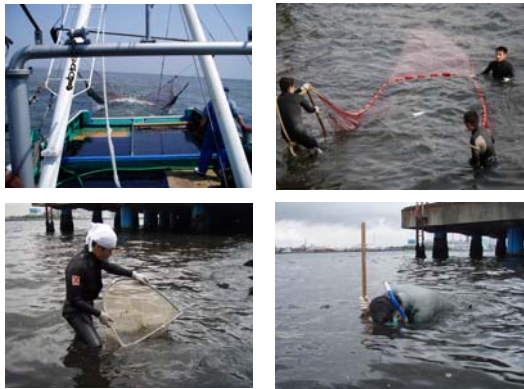


2. どん^{しら}なことを調べたの？

調べたことは、次の通りです。全部で5種類の調査を行いました。

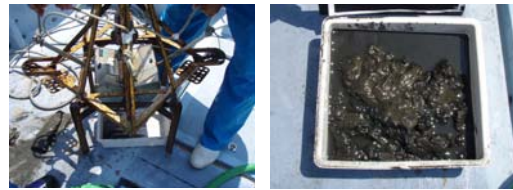
①魚介類調査

いろいろな種類の網を使い、船や人力によってどんな魚がどのくらいいるのかを調べました。魚のほかにも、カニやエビ、ナマコなどが一緒にとれました。



②底生生物調査（泥や砂の中にすむ生物）

海底の砂や泥をとり、その中にすむゴカイやヒトデなどがどのくらいいるのかを調べました。川崎港の海底は、砂の場所が少なく、ほとんどが泥です。



③プランクトン調査

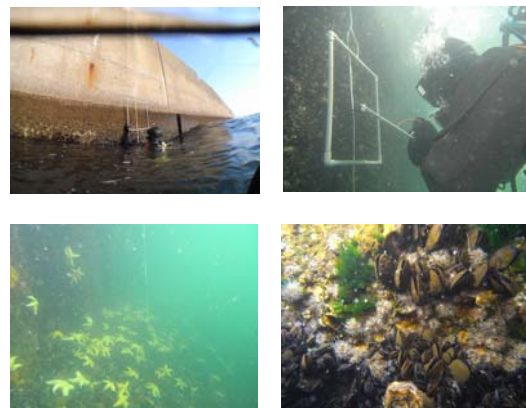
プランクトンの多くは、目に見えないくらい小さいもの。プランクトンは魚や貝などの大切なえさとなります。これら海の中にたまたまプランクトンがどのくらいいるのかについて調べました。



実験室に持ち帰って顕微鏡で数を数えるため、腐らないように薬品で固定している。

④付着生物調査

テトラポットや岸壁など、コンクリートと海水が接している場所につく貝や、それらのすきまにすむカニや貝などがどのくらいいるのかを調べました。



⑤大型海藻類調査

海藻が育つのは、主に冬から春にかけてのあいだです。海藻が生えている場所を観察して記録したり、一部の海藻を採集して重さをはかりました。

